

# ふれあい・いきいきサロンの効果

～群馬県高崎市の実践から～

平成22年4月

社会福祉法人 高崎市社会福祉協議会



## はじめに

ふれあい・いきいきサロンは、全国各地で先駆け的にはじまっていた地域住民による居場所づくりの活動を、社協活動として全国社会福祉協議会が平成6年に全国的に呼びかけたことからはじまります。

高崎市社会福祉協議会では、平成14年度に地区社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会にふれあい・いきいきサロン（高齢者サロン）の開設を呼びかけ、同時に助成事業を実施し普及を進めてきました。その結果、サロン開設数は順調に伸び続け、平成21年度末には201ヶ所の高齢者サロンが開設されています。

サロン活動は、高齢者の孤立感や孤独感の解消、介護予防など様々な効果があるとされていますが、どれだけの効果があるか明確に実証されている資料はほとんどありません。

今回、高崎市社会福祉協議会では、これまでの取り組みから得られた効果や、抱えている課題、継続性を探り、今後のサロン活動の推進に活かしていくことを目的にアンケート調査を実施しました。本調査の特徴は、参加者1人1人にサロンに参加して感じたことや変わったことを回答してもらい、ふれあい・いきいきサロンの効果を具体的に証明しようという試みです。また、このアンケート調査結果をもとにこれからのサロン活動の指針が図れればと考えています。サロン運営関係者の皆様には、本調査結果をご参照いただき、サロン活動へのより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、アンケート調査にご協力いただきましたサロン運営者や参加者の皆様から深く感謝を申し上げます。

平成22年4月

社会福祉法人高崎市社会福祉協議会  
会 長 中 島 英 明

# 目 次

1 . アンケート調査の概要.....	1 P
2 . アンケート調査の結果.....	3 P
回答率について.....	3 P
代表者・運営関係者用アンケートについて.....	3 P
参加者用アンケートについて.....	1 4 P
3 . アンケート調査からわかったこと.....	2 5 P
4 . 資料（依頼文・アンケート用紙）.....	2 6 P

# 1. アンケート調査の概要

名 称	平成21年度高崎市ふれあい・いきいきサロンアンケート調査
目 的	高崎市社会福祉協議会が推進しているふれあい・いきいきサロンについて、これまでの取り組みから得られた効果や、抱えている課題、継続性をアンケート調査により探り、検証し、今後の活動に活かしていく。
調査主体	高崎市社会福祉協議会
依 頼 先	高崎市社会福祉協議会が助成する高齢者サロンの内50%を本所・支所単位で無作為抽出する。 旧高崎地域... 64ヶ所 倉渕地区..... 1ヶ所 箕郷地区..... 9ヶ所 群馬地区..... 11ヶ所 新町地区..... 5ヶ所 榛名地区..... 4ヶ所 吉井地区..... 2ヶ所 合 計..... 96ヶ所
調査時点	平成21年12月1日
送付方法	メール便（旧高崎地区・榛名地区） 支所から手渡し（倉渕地区・箕郷地区・群馬地区・新町地区・吉井地区）
送付内容	依頼文 代表者・運営関係者用アンケート用紙×1枚 参加者用アンケート用紙×30枚 足りないサロンは増やす。
回収方法	返信用封筒（旧高崎地区・榛名地区） 支所に持参してもらう（倉渕地区・箕郷地区・群馬地区・新町地区・吉井地区）
回収期日	平成22年2月26日（金）

- 調査方法 代表者・運営関係者用アンケート用紙は、各サロンの代表者又は担い手1名に記入してもらう。  
参加者用アンケート用紙は、サロン参加者全員に渡してもらい記入してもらう。  
調査票が足りない場合は、追加で送付する。
- 集計方法 高崎市社会福祉協議会ふれあい・いきいきサロンプロジェクトチームのメンバーが分担して実施する。
- 分 析 高崎市社会福祉協議会ふれあい・いきいきサロンプロジェクトチームが、集計結果を分析する。

## 2. アンケート調査の結果

### 回答率について

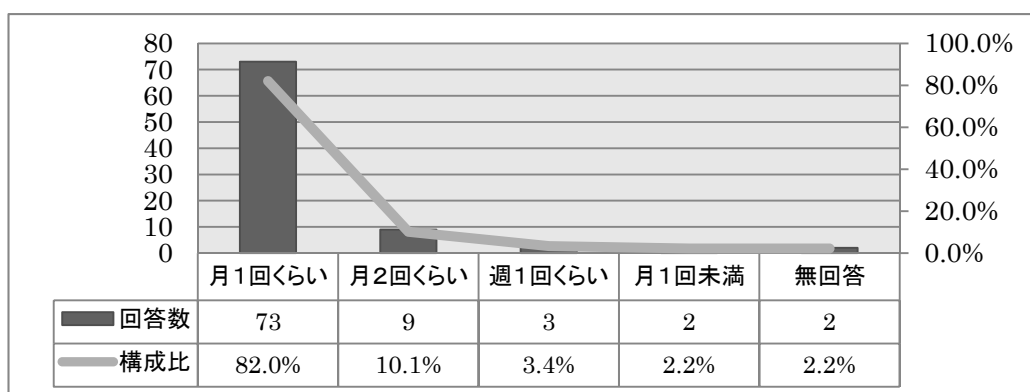
回答率 92.7% (96ヶ所のサロンに依頼し、89ヶ所のサロンから回答があった。)

回答数 代表者・運営関係者用 89件 参加者用 1811件

### 代表者・運営者用アンケートについて

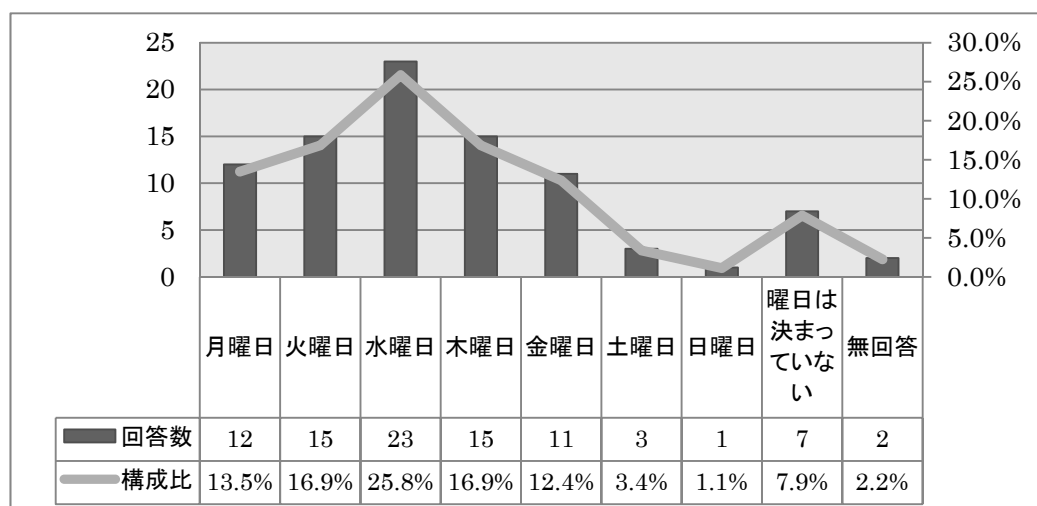
#### 1. サロンの開催頻度について

82%のサロンが月1回の実施となっている。



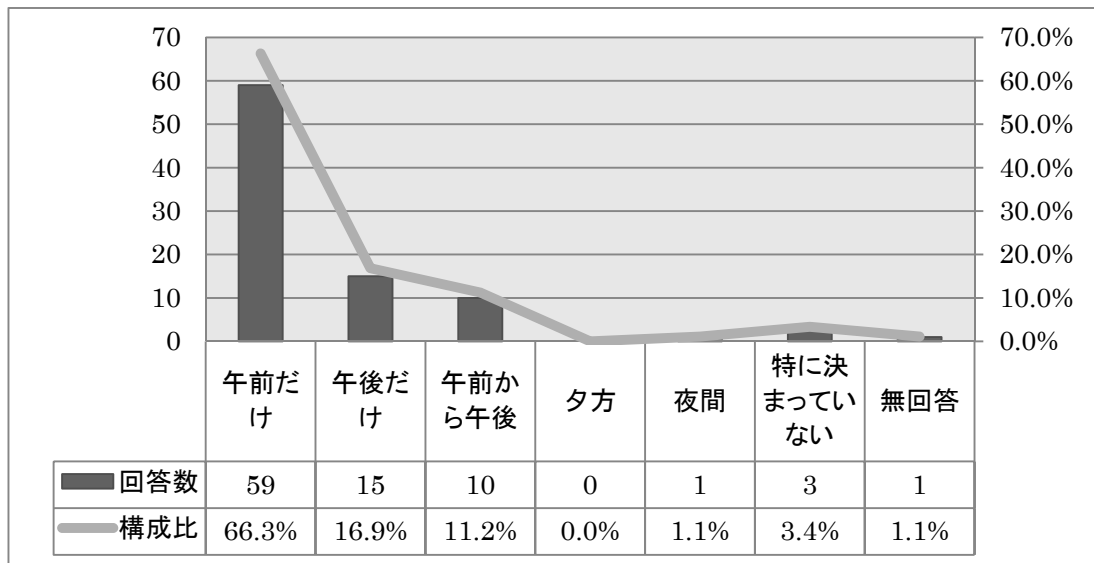
#### 2. サロンの活動曜日について

水曜日に活動しているサロンが約26%と一番多い。水曜日以外の平日は大きな差はない。土日に活動しているサロンも約5%ある。



### 3. サロンの活動時間帯について

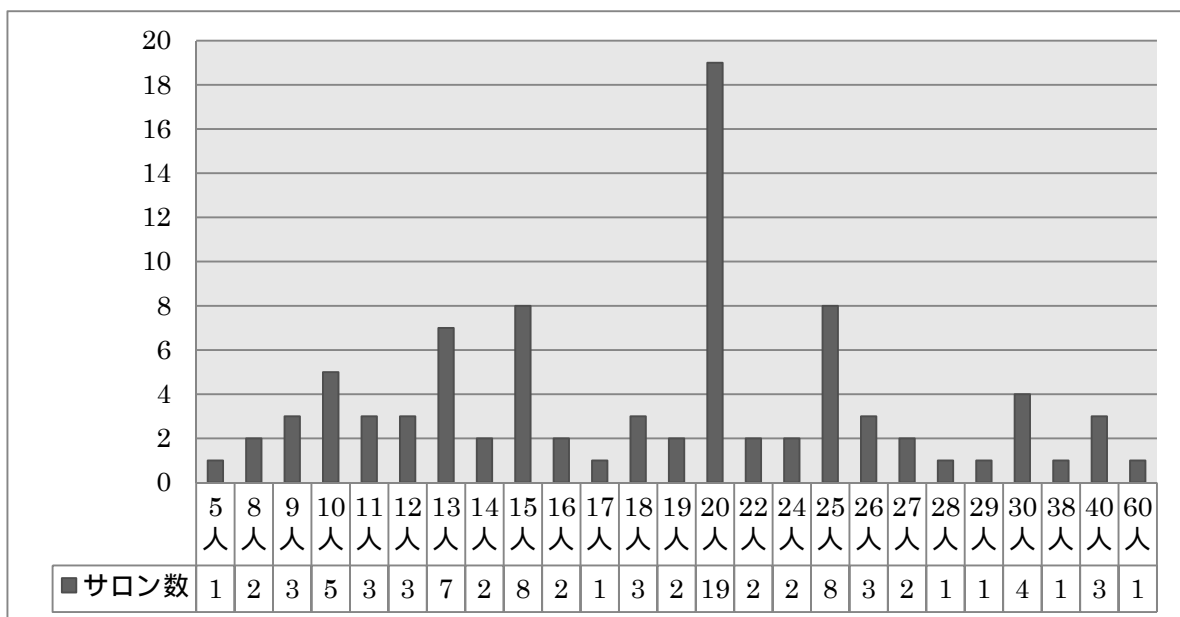
午前中だけが約66%と一番多い。夜間に活動しているサロンも1ヶ所ある。



### 4. 参加者の人数について

1回の参加者数は、20人が約21%と最も多い。

5人ずつ分類すると、20～24人が約26%と最も多く、10～14人が約23%、15人～19人が18%と続く。

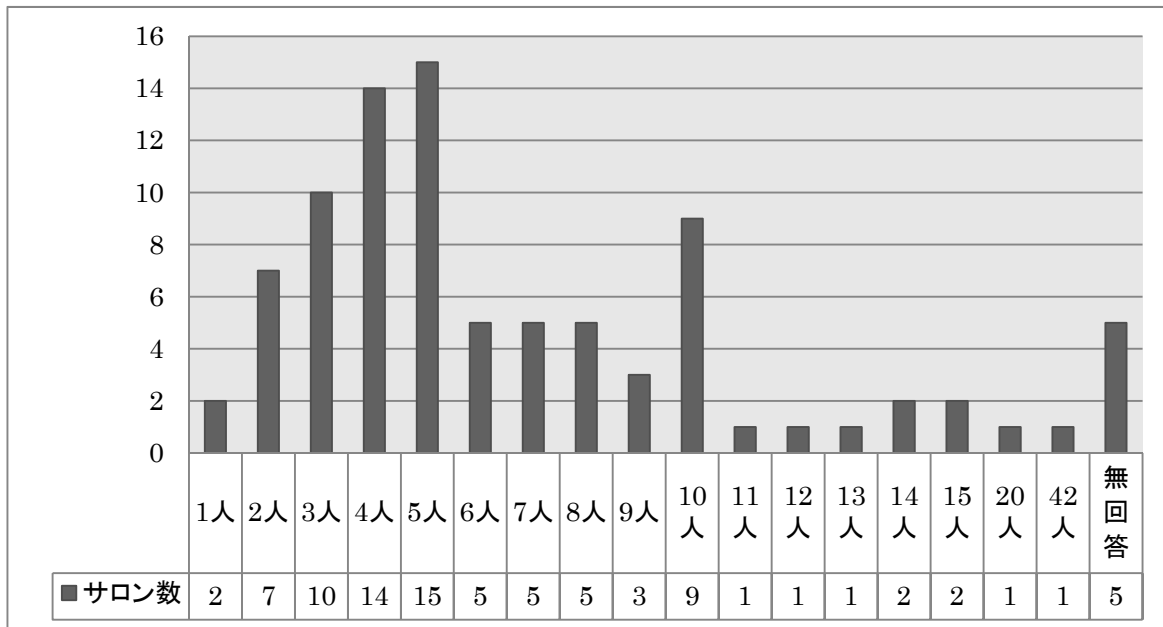


構成比は紙面の都合により、表示していない。



## 5. 運営者の人数について

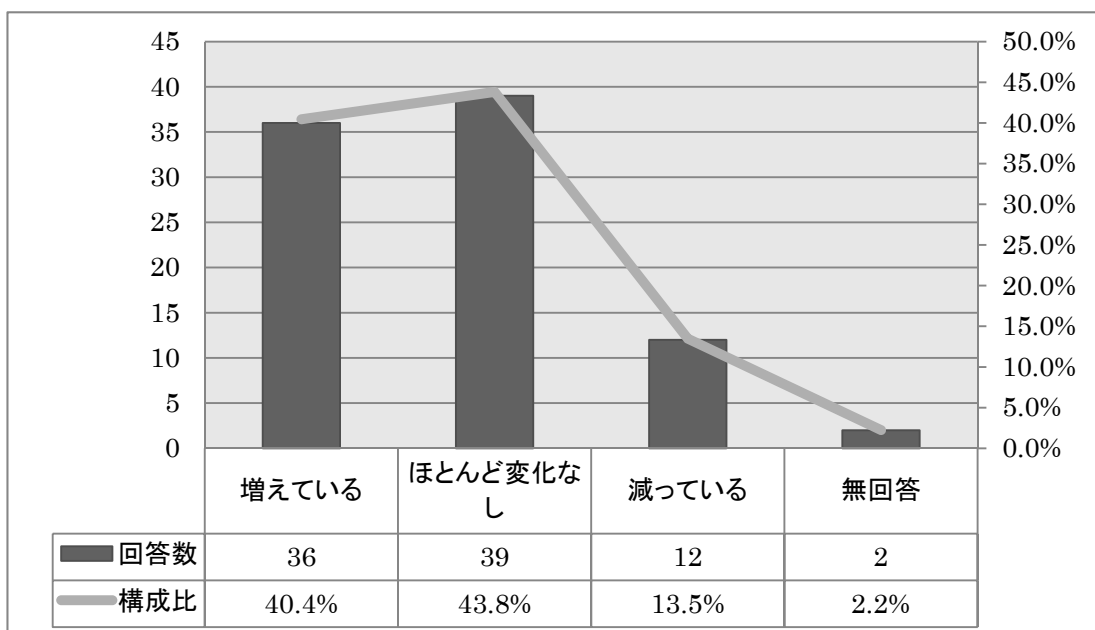
1回の開催に携わる運営関係者の人数は、5人が約17%と最も多く、4人の約16%、3人の約11%と続く。



構成比は紙面の都合により、表示していない。42人の回答は誤りだと思われる。

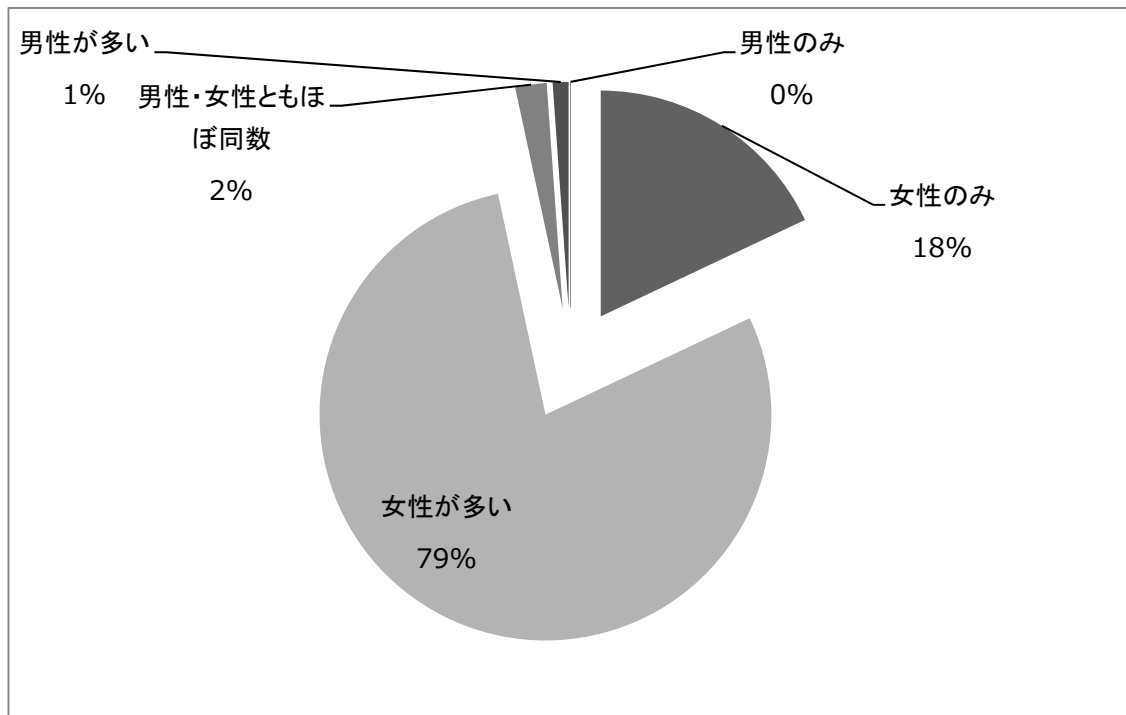
## 6. サロン開設時と比べて参加者数はどう変化していますか？について

ほとんど変化なしが約43%で1位ではあるが、約40%のサロンでは参加者が増加している。



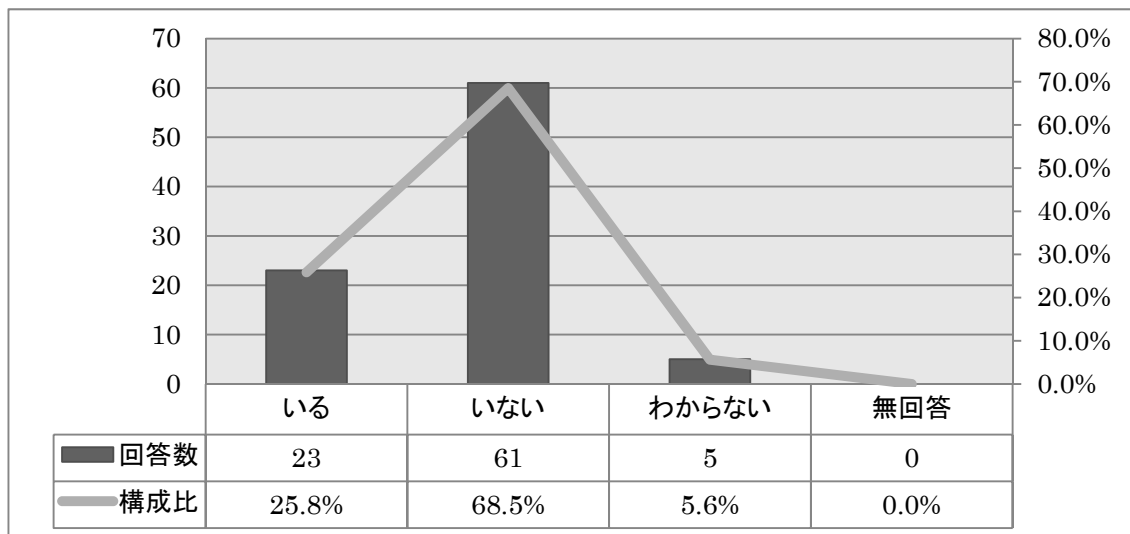
## 7. 参加者の性別構成について

約96%が女性が多い・女性のみとなっている。男性の参加はかなり少ない。



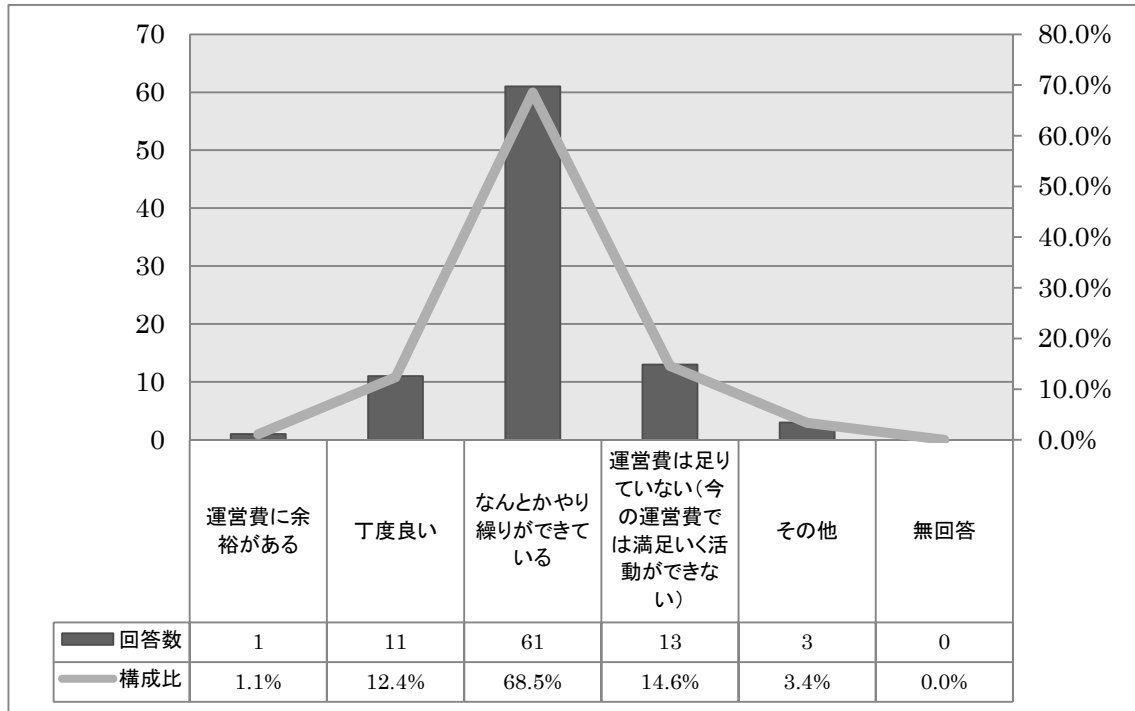
## 8. 認知症と思われる参加者はいますか？について

いないが約69%であるが、約25%のサロンでは認知症と思われる参加者がいる。



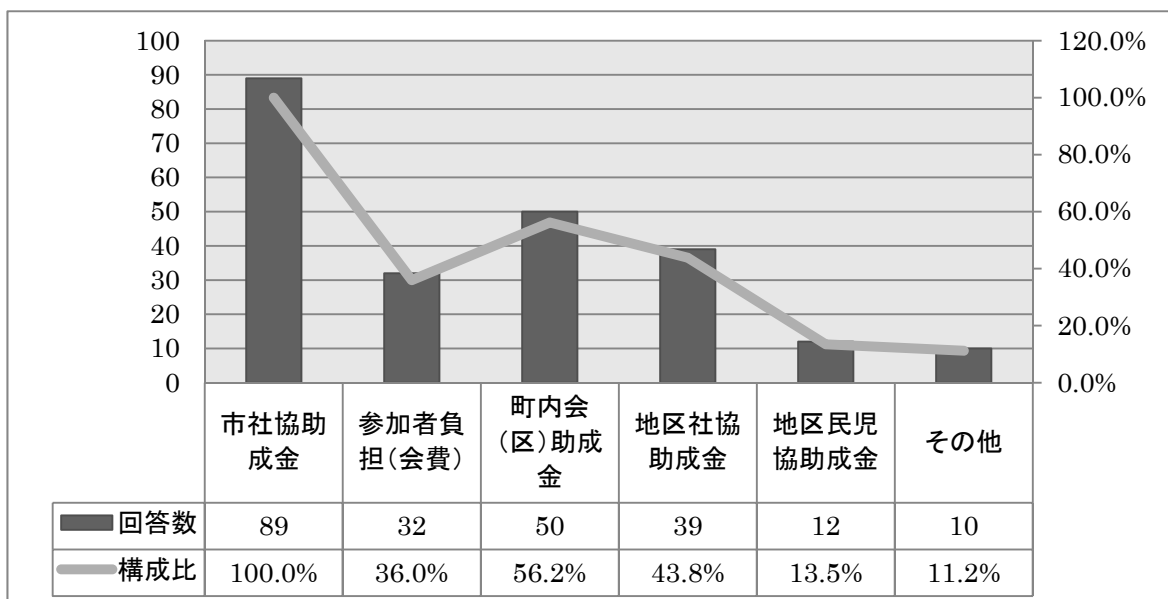
## 9. サロンの運営費（収入）について

お金がないという声をよく聞くが、運営費が足りず満足いく活動ができないというサロンは約14%に留まっている。



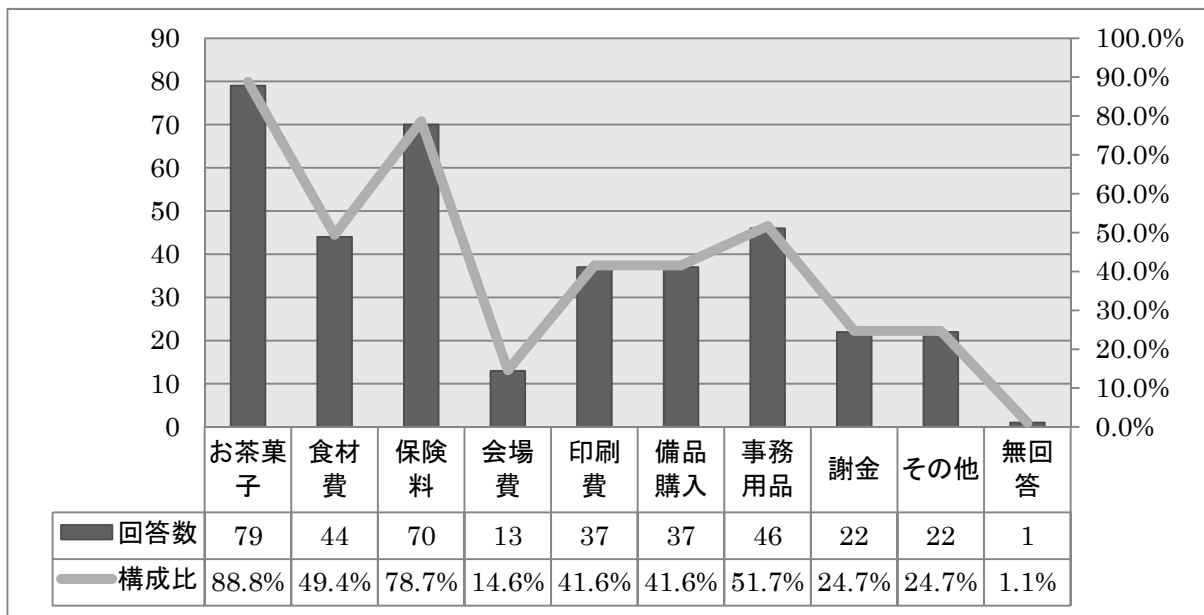
## 10. サロンの収入について（複数回答）

市社協助成金以外にも収入源を確保しているサロンが多い。約56%のサロンは町内会から助成を受けている。36%のサロンは参加者から会費をとっている。



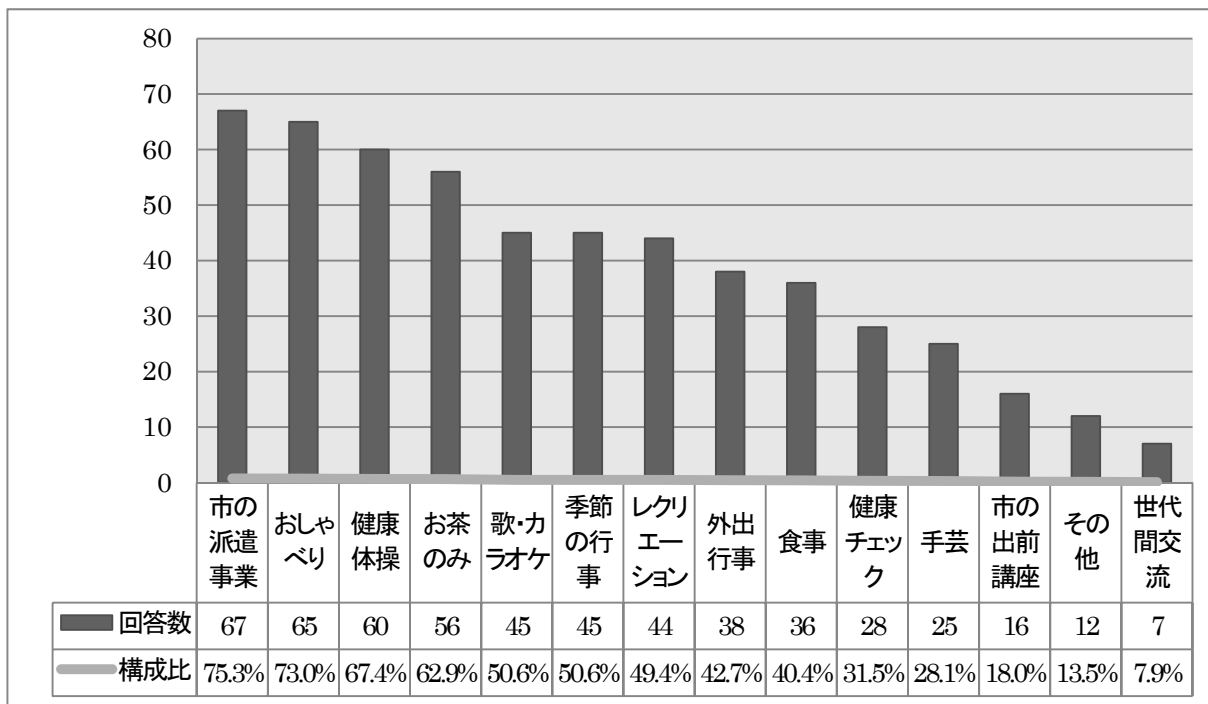
### 1 1 . サロンの支出について (複数回答)

上位を、お茶菓子・保険料・食材費、事務用品が占める。



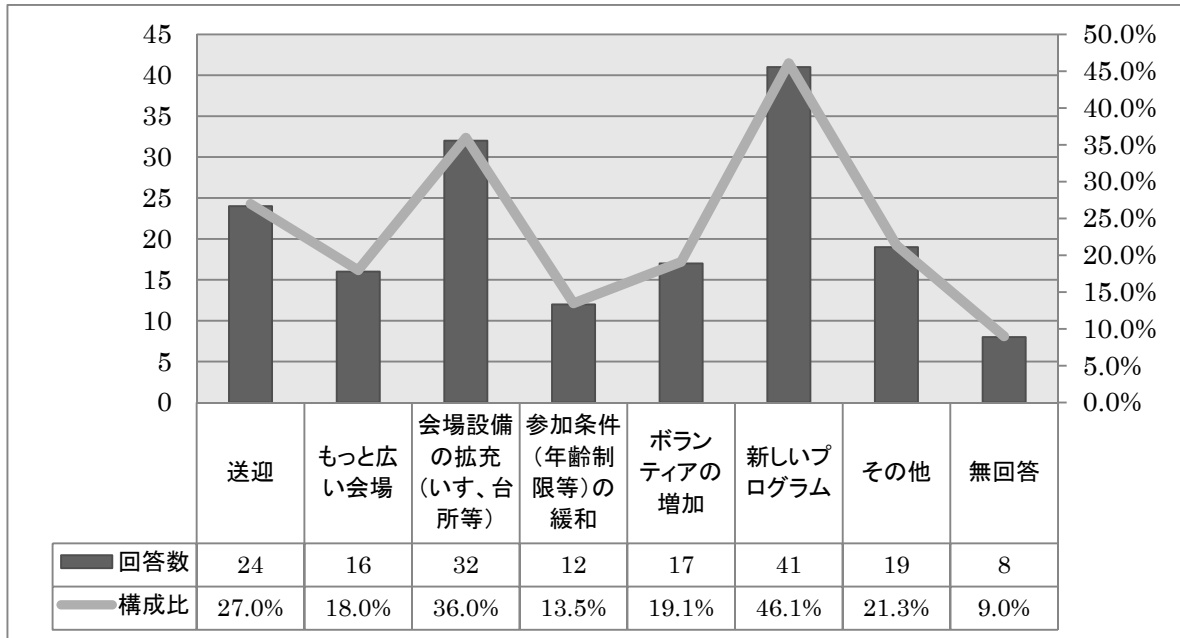
### 1 2 . 評判の良いプログラムについて (複数回答) 表の並び順を変えています

高崎市長寿社会課の派遣事業が約75%で第1位となっている。その後、おしゃべり・健康体操・お茶のみと続く。



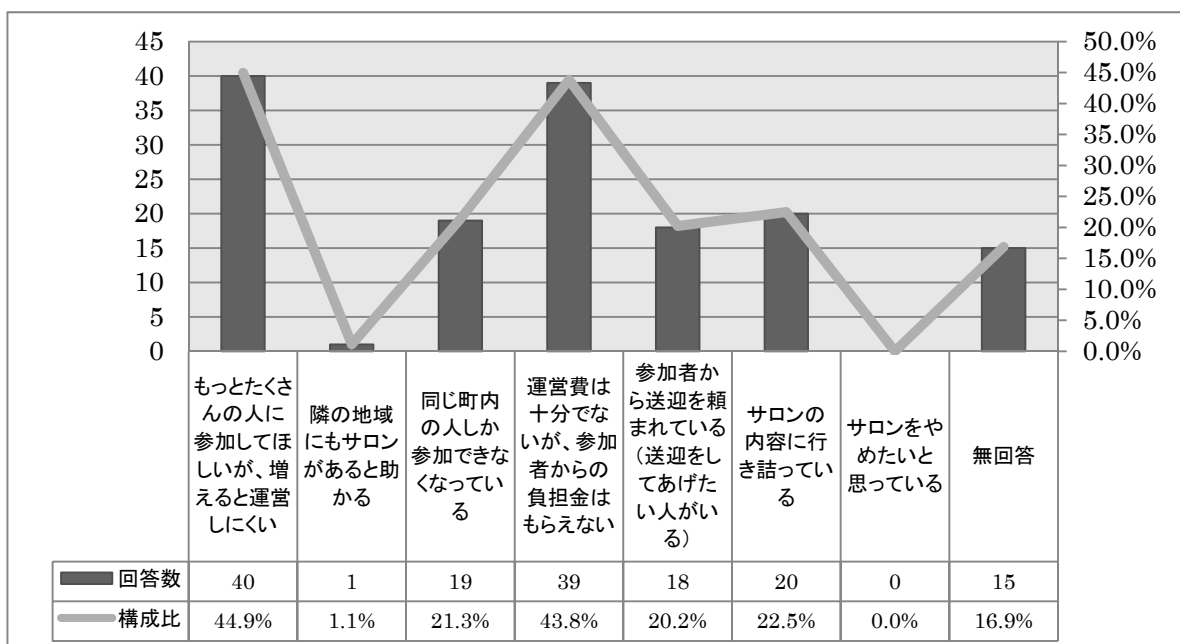
表の並び順を見やすいように変えている

1 3 .もっとたくさんの人に参加してもらうために必要だと思うものについて(複数回答)  
 第1位は新しいプログラム、第2位は会場設備の拡充、第3位は送迎となっている。27%のサロンは送迎の必要性を感じている。



1 4 .現在の状況について(複数回答)

参加者が増えると運営しにくいのが約45%で第1位、参加者からの負担金はもらえないが約44%で第2位となっている。サロンをやめたいと思っているサロンは1つもなかった。



## 15 . 10年後、サロンが活発に活動しているために必要だと思うもの・こと(自由記述)

あまり無理しないこと。皆さんの意見をとりいれること。全員の方が参加出来ること(手芸などで出来ない人がいると困ることがある)

地域の人とのつながり(誘い合って参加してもらうため)

男性の参加もできる状況にしたい。いきいきサロンは高齢の方の参加だと思っている人が多く、少し若い人は誘ってももう少し先になってから参加したいとの考えの人が多く

市の派遣事業等も内容は限られていますので、新しくメニューの開拓が必要だと思います。

参加者と同じ目線になって活動してゆく姿勢が大切ではないか。新しいスタッフに交代した際に研修をやってほしい

町内の助成金も必要だが、町内の役員さんが参加し、ボランティアとして民生の手伝いをしてほしい。男性の参加がほしい(男性の出席者が増えるのでは)

担い手の後継者

私は今60代の半ばですが、地域の若い世代の人が進んでサロンのボランティアをしたり、又、次の世代の人にも自然体で協力してもらえたらいいなと思います。サロンが各町内の高齢者の集いの場所として是非必要だと思います。

ボランティア増員を図る(登録)、会場が狭い(会場設備の拡充)、椅子の購入(椅子がないので椅子を使っただけの軽体操ができない)現在は工夫して軽体操はしているが活発な活動を推進するのであればサロンに早急に整備すべきと思う。高齢者の軽運動は健康維持にはかせないと思う。

健康づくりサロンなので参加者1人ひとりが健康は自分で作るものと認識してくれれば続くとおもいます。

高崎市の指導者が多くなると良いと思います

サロン運営に携わる人の育成。各団体への広報活動。安定した運営費の確保。サロンの単位の細分化。1サロン10~20人程度でボランティア3~5人で運営する。ただ会場の確保が難しいかも。補助金を増額して頂きたい。ボランティアの増加等

政治や経済、身近な事をわかりやすく運動してから話すことが大切だと思います。特に行政の指導及びやさしさが大切です。どんなことにも耳をかたむけることです。

代表者の欠席の場合でも、会場がスムーズに始まる様な体制になればと常に希望しています。(否の条件)=地域に恵まれている、老齡グループである、自主性に欠けている、良いリーダーが欲しい、未だ不慣れな点で自身がない

私は現在84才サロンが出来前5年間会費300円位で今と同じ様な事をしてきましたが、10年といわず2~3年で次に渡したいと思って居ります。皆さんはとても喜んで集まって来て居ります。車に乗れないのが残念です。

現在で4分の1が老人、10年後は2分の1に近い状況も予想され、高齢を重ねる中での自立は今以上に高まることが予想される。今後ギブアンドテイク意識が高まることを期待している。

永続的に助成金をいただきたいと思います。サロンも永く続けます。ねたきりにならないために頑張っています。年1回の日帰り遠出に自己負担が多いので、もう少しいただけたらと思います。

地域全体で健康の意識度を高め隣人や若い人たちの交流を密にし、おたがいを理解しあっていく。たがいに心によりそってあげられる心のキャッチボールをしていければと思う。

健康で長生き（身も心も）は誰もが年を取ると感心がある。このことを念頭において企画立案している。社協で新しいプログラム（芸の登録制、歌、踊りなどのメニュー）用意してほしい

助成金の充実

男性の参加が少ないので、行事内容に男性の興味のあるもの。男性のボランティアがほしい。

民生委員のみならず、ボランティア、区長等、長寿会、町内の力が必要だと思います。いろいろな試みが（介護予防サポーター等）なされているが、それぞれの活動も大事ですがこの先1つにまとめて協力しあう必要があると思います。

そんな先のことは尚更わからない。生死もわからない。

明るく楽しい運営スタッフは喜ばれます。内容もカリキュラムを作って年間計画をしっかり立てた処、準備等の負担が軽くなると予定が順調にこなせる。今から土台をつくる為実行しています。何年先でも一部変更すれば使えます。

先に立って、運営してくれる人がいなくなる

健康運動指導を多くしたい。軽い運動の後にお茶、話し

運営費、会場設備の拡充（テレビ、カラオケ）、担い手

区長、民生さんと知恵を出して考えること

足が悪く送迎すれば出席したいと言われるが、自分は良いのですが上から事故が発生したら保障出来るのかといわれ何か良い案があれば出席したい人を出席させてやりたい。一人暮らしと限定しているので妻帯者の方も参加を希望するが手がなくボランティアの手助けがあればと思う。（前にボランティアの方もいたが、私が私がで疲れた。やはり人の事を思う事のできるボランティアの方がいれば）

市の出前講座の充実、教員・看護師・医者等専門分野からのアドバイスをいただきたい。

新しいレクリエーションのやり方を多く学びたい。世代交代がスムーズにでき、敬老会にならないようにすること。福祉バスの台数を増やしてほしい。

代表者及びボラ関係者の後継の掘り起こしがうまくいけば続くと思う。

ボランティアの育成（高齢者とのコミュニケーションがうまくできる人、隣近所とのつきあいがうまくいく人）

戦後生まれの人は相手に世話になる迷惑になる事を嫌うので自立を支援する活動を今以上に増やすことが大切だと思います。

助成金の増額。参加条件の緩和と担い手の育成（若者に呼び掛け）

サロンの意識の徹底と次回が楽しみと思える様なプログラム作り

運営費の増額。年齢を65才から。バスを増車。

未知の社会へ出ていける心を持っている者が増えること

女性のボランティア増員。会場設備の拡充（台所、調理具等）。市からの助成金の増額。

講師の増員

参加年齢を70歳くらいからにして参加者が自主的に運営していけば、ボランティアの人が少なくても運営できると思う。

ボランティアの増加とリーダー等指導者の育成。町内会主導による運営（運営費及び町内役員のボランティアの参加）

国・県・市等の行政の一般の支援体制、協力体制。安定した資金援助の拡大  
年に3回ぐらいお昼に軽食を出せると良いが経費の都合でできないのが残念。年間の印刷費が多額になるため、地区の公民館で応援して頂けるとありがたい。

足腰がだんだん弱くなっていくので足の高い机・イスなどが必要になる。送迎など。運営費の増額  
男性の参加

レクリエーションの講習や参考になる本があれば。現在は色々趣味を持っている人が沢山いると思うので、一人でも多くの方がサロンの事を知りボランティアに協力してほしい。

参加者が毎回楽しく過ごせることは勿論必要であるが、現在当サロンの平均年齢が70歳であることを考えると、今から50代～60代前半の人達の参加を得ておくことが必要であると思います。考えていない。

月1回程度では対象者が受動的になってしまいます。対象者の作品展あるいは筋トレ等回数を増す  
高齢者が主のため、同居の家族の協力が必要。休日に実施したりしてお孫さんが手を引いて参加、そんなサロンができるといい。またそうなるよう努めていきたいと考えている。

現在のボランティアの人の年齢も75歳を超える。その後を引き継いでくれる人達の員数が極めて少ない。ボランティアの人達をどう確保するか。

イキイキサロンの参加者はどうしても老人のみになってしまうが、これを活発に活動し継続するためには町内に於いてももう少し若い世代（老人予備軍）の組織を育て活発化する必要があると思う。バリアフリーで入室できると良い。送迎する家族の駐車場。靴をはく為の椅子が用意されていると望ましい。告知方法

多くの人にサロンに参加していただくには広い公民館が必要です。内容については市からのアドバイスや派遣事業が必要です。生活面を変えるには1カ月に1回のサロンでは少なすぎると思います。指導者後継者の不足、時代の変遷と言うか地域とか人の為とかと言うより自分個人を大切にする気質の人が多く、どうしたらよいか？

前代表者が他界された為、運営について未知のことが多く困っている。

担い手の確保（1人暮らし家庭が増えると手作りの食事は欠かせません）

元気で楽しく前向きに生き抜こうと支えあう地域づくり（特に老人間の）

派遣講師によりサロン進行（地区サロンの開催日をずらせる、民生委員は運営と多様化する参加者へのサポート（聞こえが悪い、移動困難）

ますます高齢化して民生委員の仕事は増えるばかり。負担が多すぎると民生委員を引き受ける人がいなくなるのではないかと心配します。また、お年寄りには外部の方に来ていただくことをとても喜びます。

10年はOK（現スタッフ）5年後に考える（良い人材を見つける）

運営委員の熱意、発想の豊かさ

参加者が主体性をもって参加できるように努力していきたい。（世話する側と世話される側というのは望ましくない）

若い方のサロンの担い手を増していく事だと思います。



民生委員、区長さんが運営委員に参加いただいている限りサロン活動は存続していることとっております。

十分な運営費、新しいプログラムの拡充等必要になると思います。

運営費助成の継続(現在、区としての助成なしの為、区長等役職の方々の理解を願っていますので、まず活動状況を見に来ていただきたい。)

女性優先のサロンになりがちである為、男性の方々の参加も希望

町内の長寿会の行事へ招待される度、周知宣伝につとめている。又、町の行事の都度集いへの参加を呼び掛けている。町内の区長会、民生委員、長寿会の共催にし、協力を求め町の事業として発起したが、この三者が意義を共有し役員の機能的な運営参画を継続していかなければならない。

運営関係者の人材確保、あまり力まず仲良くをモットーにする。

サロンに参加できる人は他にも何かやっている人が多い。家にひとりでいてあまり外に出ない人はサロンにも参加しない。あまり外に出ない人に参加してもらうには送迎の件だけでは解決できないと思う。新しくできた町内なので隣近所の付き合いもあまりないというのも原因の1つではないか。

年1・2回位無料のバスで日帰り温泉に行きたい

無理に参加をもとめない。会員との交流

年間手伝ってくれるサポーターの派遣があれば地域では限られてしまう。サポーターの養成講座を受けても家庭の事情で出られない人が多いです。本来なら地区の人が良いのですが。

現在は50才後半数人、60才70才80才の方が参加しております。若い方の参加を願っています。処々に参加して下さると思います。未永く続けたいと思います。サロン日は皆様の笑顔が見えてほっと致します。食事を作り美味しくいただき、その後ゲーム(手作りゲーム)軽い運動、ラジオ体操等で1日を終わりにしています。

経費不足で十分な活動は不可能であり助成金等の削減は活動を縮小するしかない。

サロンの存在を多くの人に知ってもらうこと。協力者が増えること(ボランティア精神のある人)、気楽に来られること。

自主運営、地域全体での取り組み(町づくり)、運営費

楽しく意義のある出し物をこれからも工夫していきたい。若い人に実行委員になっていただけるようこれからも声をかけていきたい。みんなが気軽に意見が言える様な雰囲気作りが大切

各種資料の提供をしてほしい。現状は自分たちで資料を見つけてきたり近隣(町外)のサロン運営者より提供してもらったり提供したりで運営している。

所帯が現在33世帯 50世帯に増えてほしい。

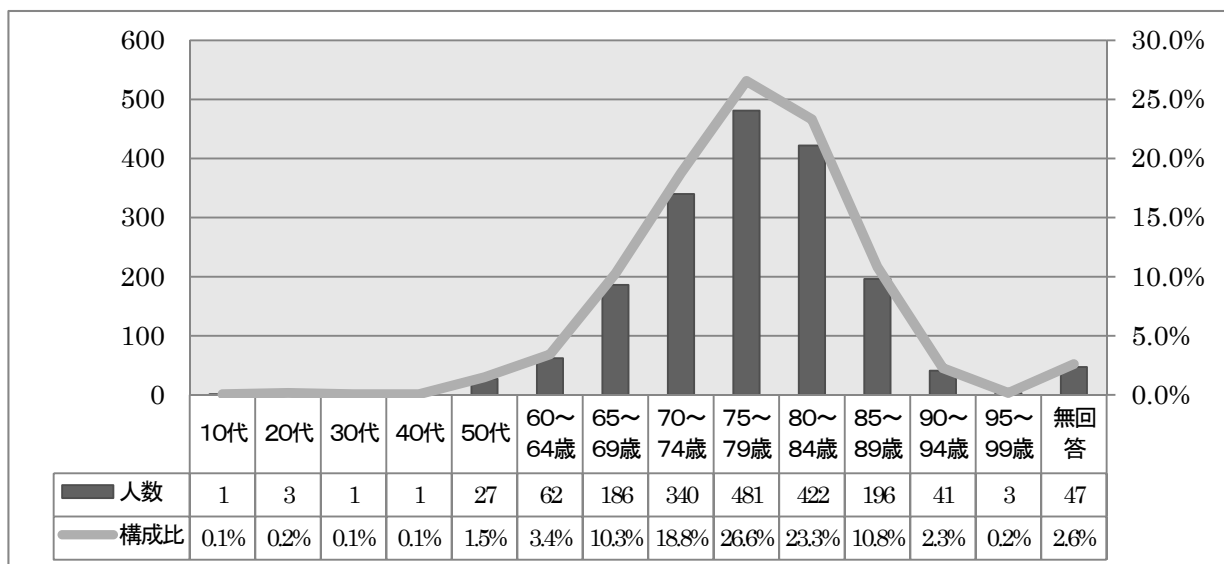
若い世代の人との交流

自由記述は、記述内容をそのまま掲載している。

## 参加者用アンケートについて

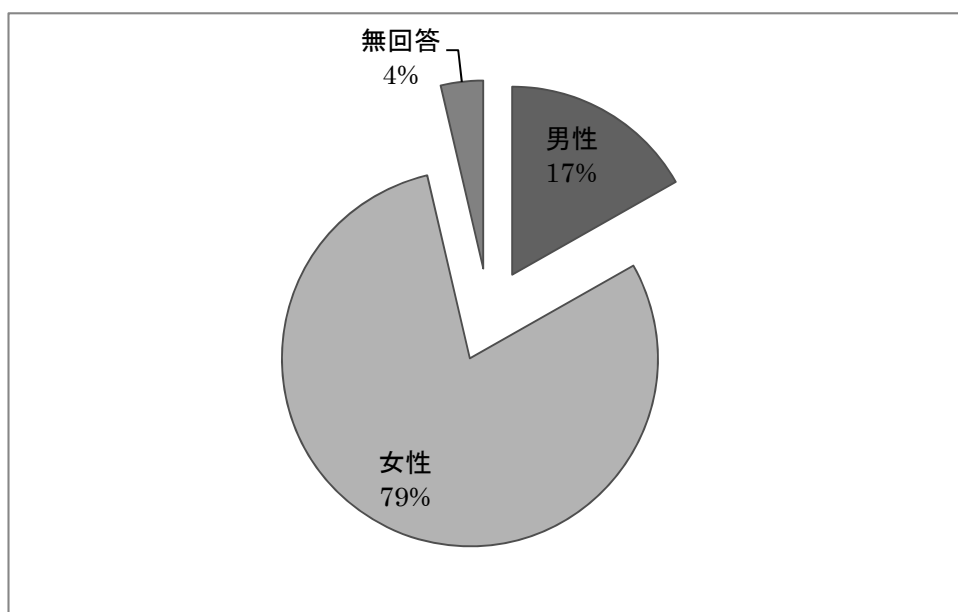
### 16. 年齢について

参加者の年齢を5歳ずつ分類すると、75～79歳が約27%と最も多く、80～84歳の約23%、70～74歳の約19%と続く。



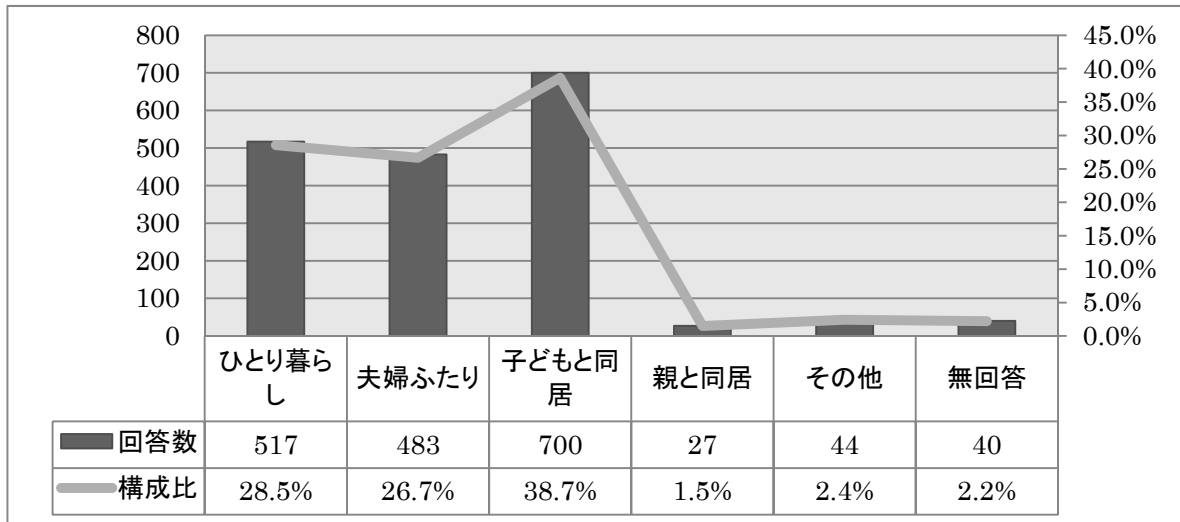
### 17. 性別について

女性の参加者が79%、男性の参加者が17%となっている。問7でも明らかになっているが、やはり男性の参加が少ない。



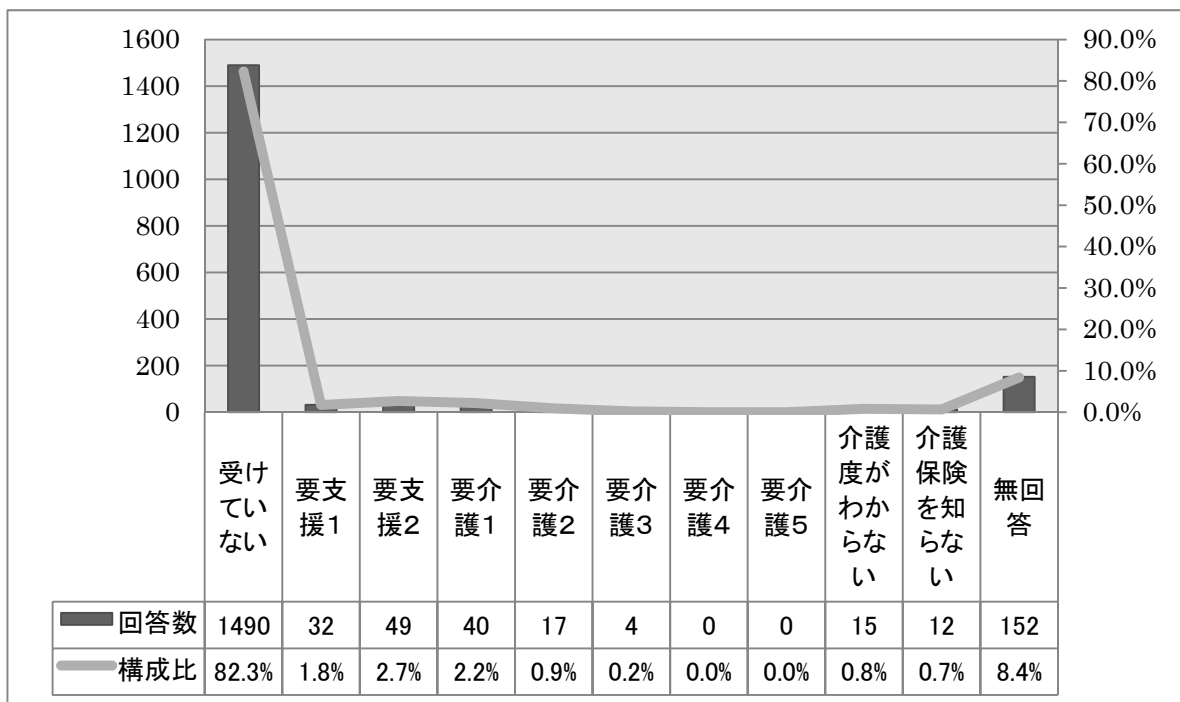
## 18. 家族構成について

意外にも子どもと同居が約39%と最も多く、次にひとり暮らしの約29%、夫婦ふたりの約27%と続く。サロンによってはひとり暮らしのみと限定しているサロンもあるようだが、参加者にも様々な形態があるようである。



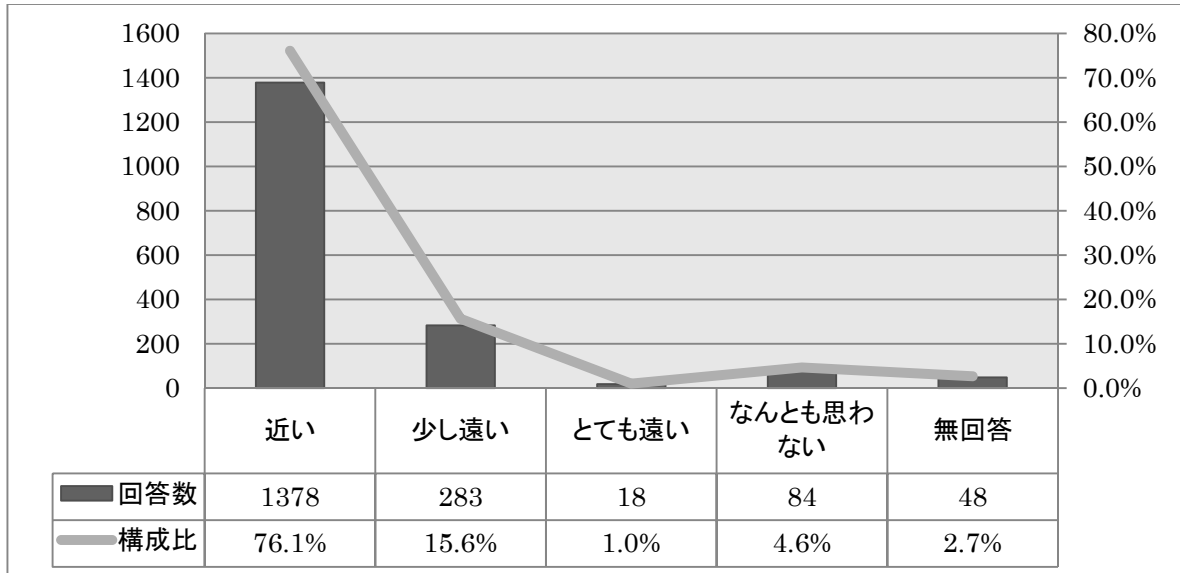
## 19. 介護保険の認定を受けていますか？

約83%とほとんどの参加者は介護認定を受けていない。しかし、要支援2～要介護3の認定を受けている参加者も数名いる。



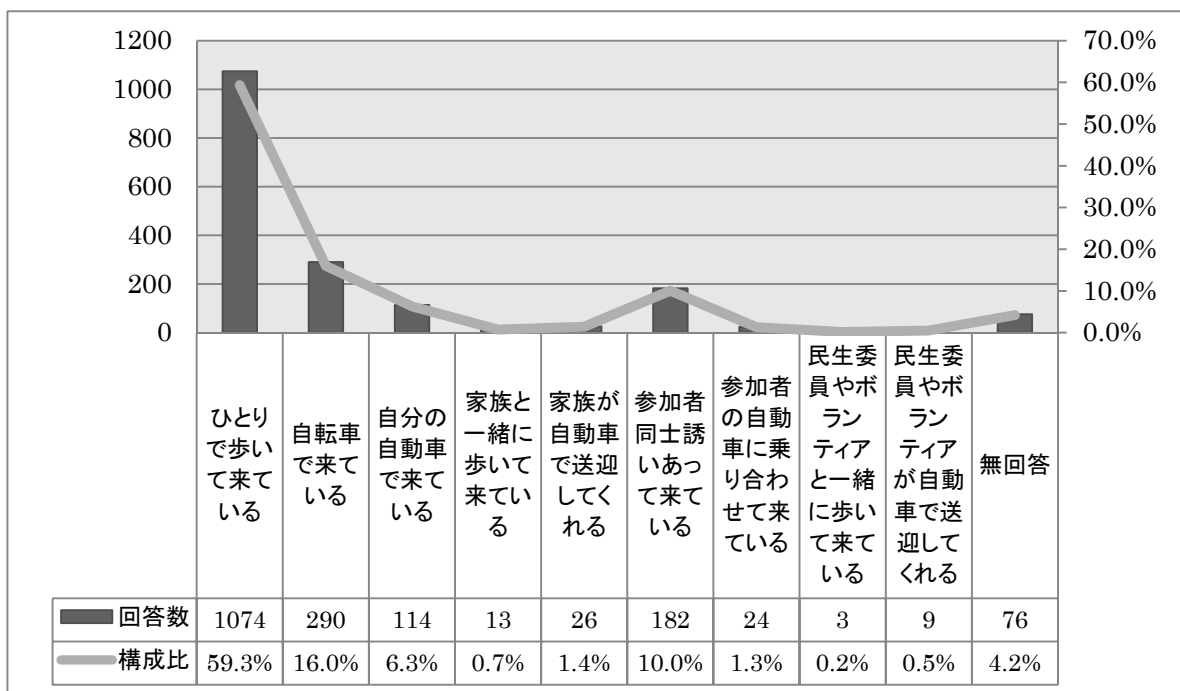
## 20. サロン会場への距離について

約76%の参加者は近いと感じている。第2位の少し遠いと感じている参加者は、約16%とだいぶ少なくなる。



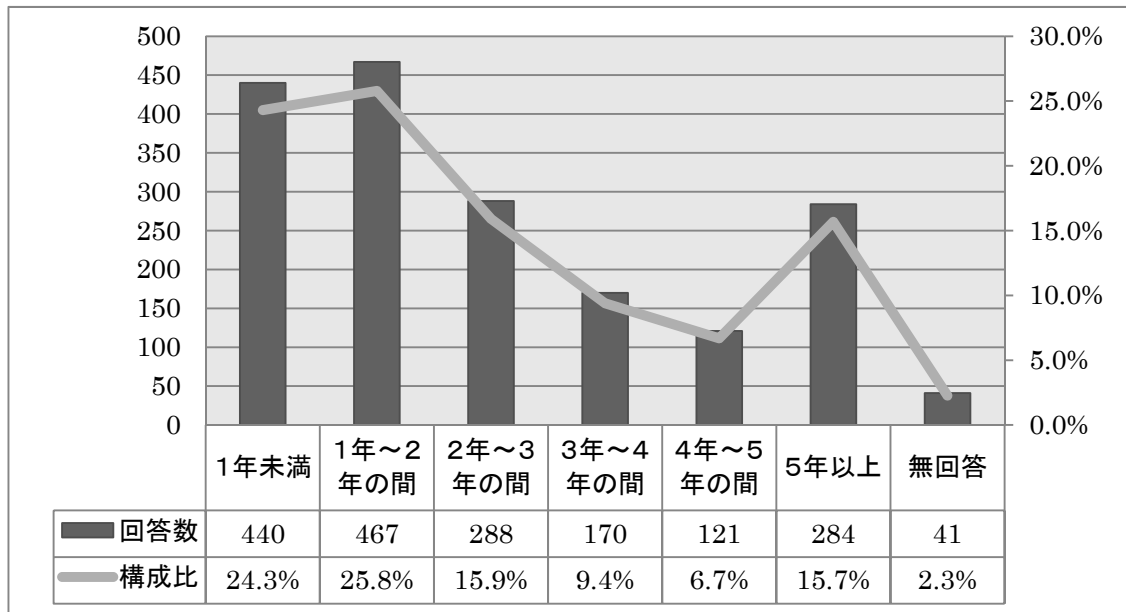
## 21. サロン会場までどのように来ていますか？

ひとりで歩いて来ているが約59%と最も多く、自転車では来ているも16%だが第2位である。参加者同士誘いあって来ているは10%だが第3位となっている。



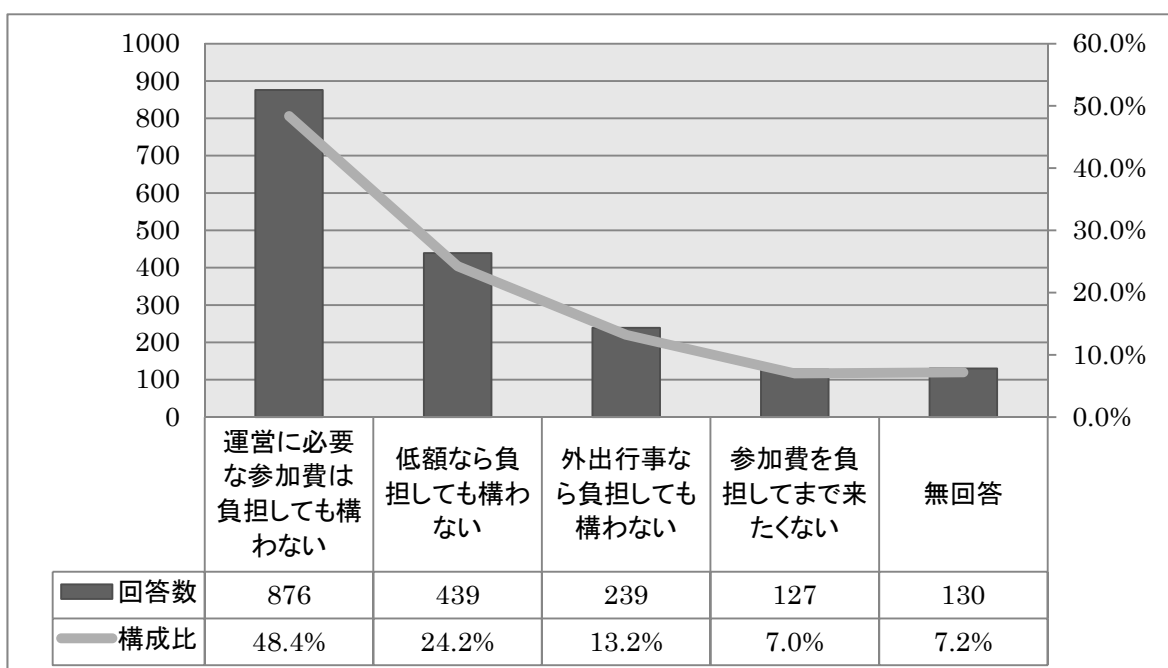
## 2 2 . サロンに参加してどのくらいの期間になりますか？

サロンの開設年にもよるが、1年～2年が約26%と最も多く、1年未満が約24%、5年以上が約16%と続く。



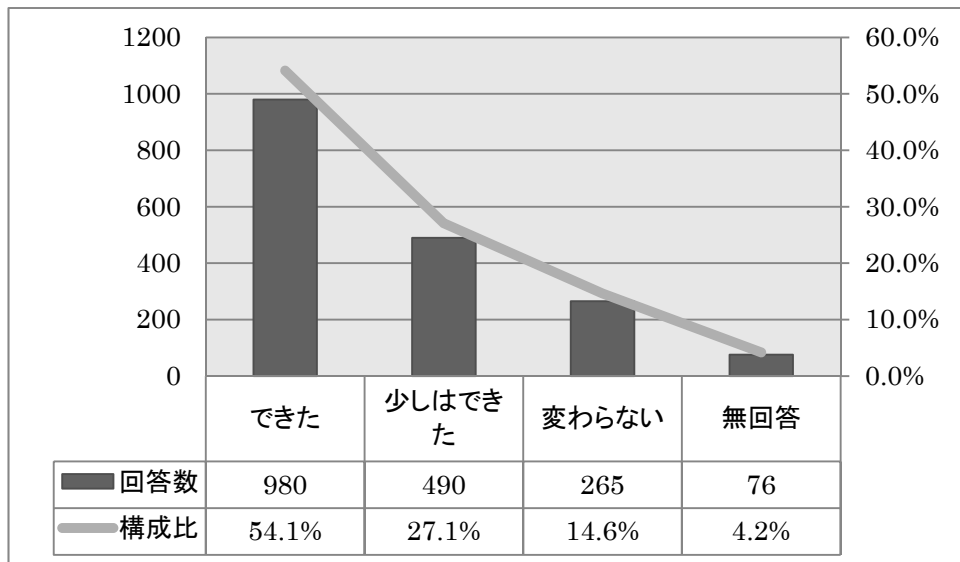
## 2 3 . サロン参加費（会費）の負担について

運営に必要な参加費は負担しても構わないが約48%と最も多く、低額なら負担しても構わないが約24%、外出行事なら負担しても構わないが約13%と続く。外出行事など必要な経費は負担しても構わないと思っている人は、約86%になる。



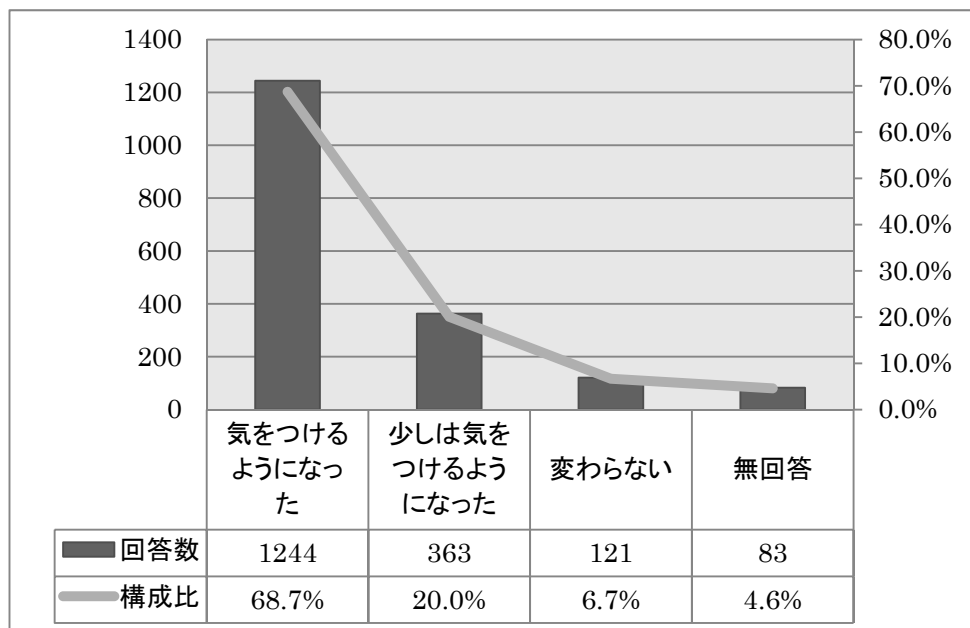
## 24. サロンに参加して、身体を動かす習慣はできましたか？

約81%がサロンに参加して身体を動かす習慣ができた。または、少しできたと答えている。できたが約54%と最も多く、少しはできたが約27%となっている。



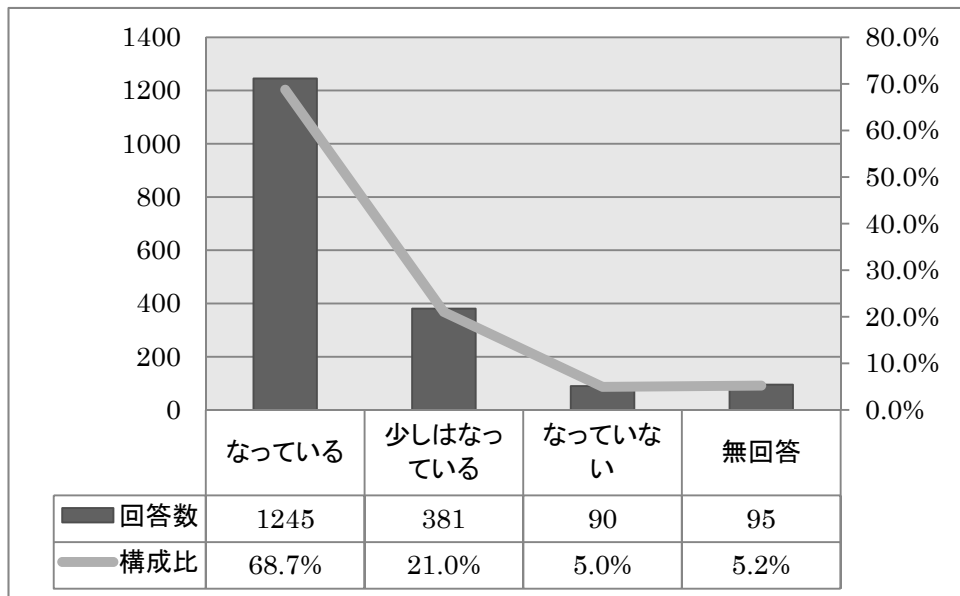
## 25. サロンに参加して、健康に気をつけるようになりましたか？

約89%がサロンに参加して健康に気をつけるようになった。または、少しは気をつけるようになったと答えている。気をつけるようになったが約68%と最も多く、少しは気をつけるようになったが20%となっている。



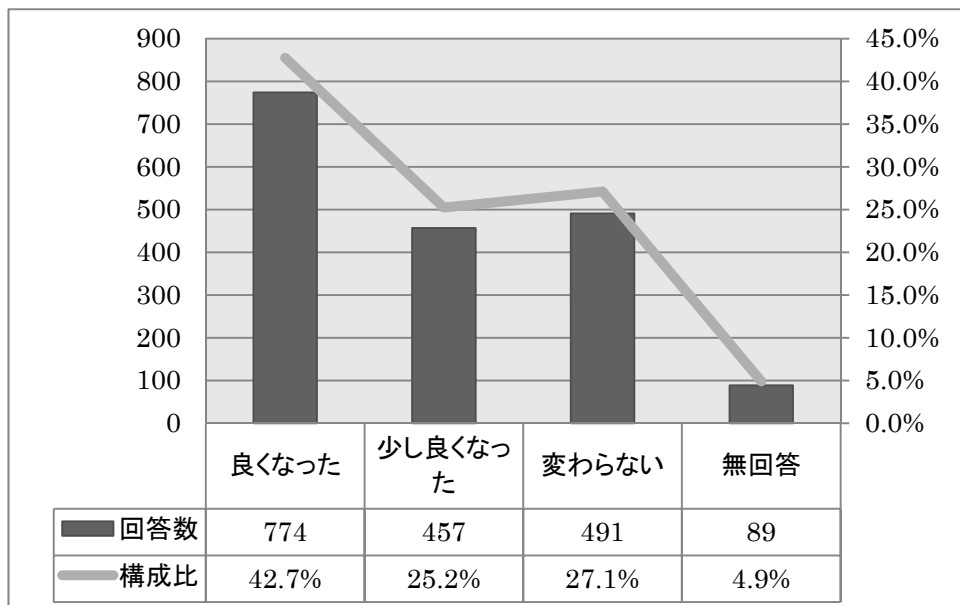
## 26. サロンは認知症（ぼけ）の予防になっていると思いますか？

約90%がサロンは認知症予防になっている、または、少しはなっていると答えている。  
なっているが約69%と最も多く、少しはなっているが21%となっている。



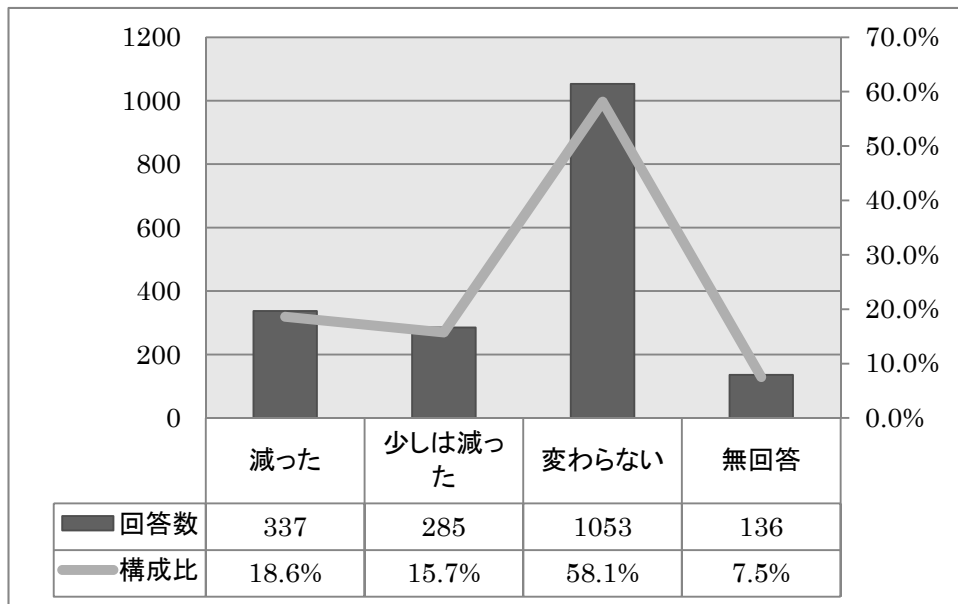
## 27. サロンに参加して、体調は良くなりましたか？

約68%がサロンに参加して体調が良くなった、または、少し良くなったと答えている。  
良くなったが約43%と最も多いが、第2位は変わらないが約27%となっている。



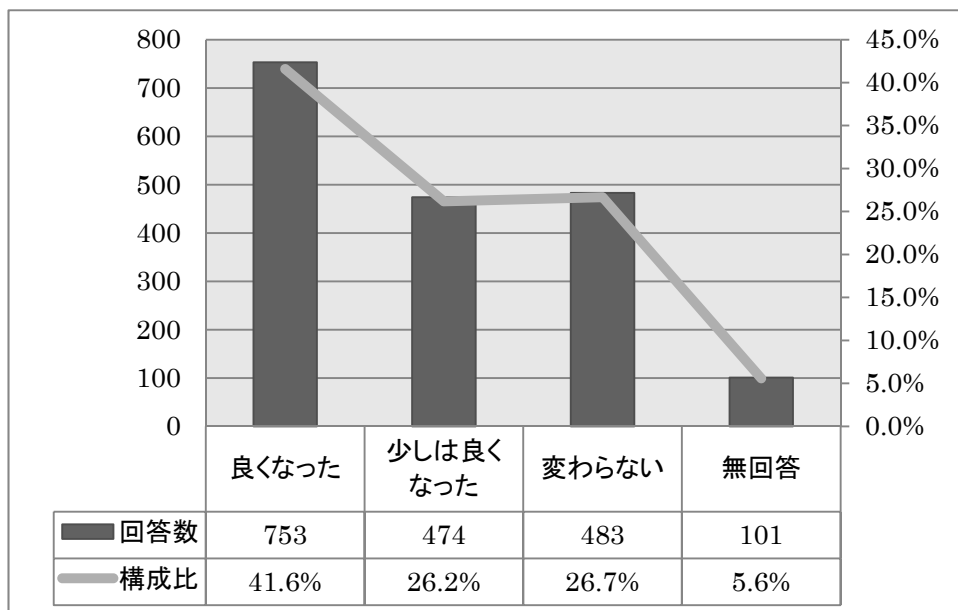
## 28. サロンに参加して、病院に行く回数は減りましたか？

変わらないが約58%と最も多い。減った、または、少しは減ったが約34%となっており、多少は医療費の削減にも効果があるのではないかと推察される。



## 29. サロンに参加して、生活のリズムは良くなりましたか？

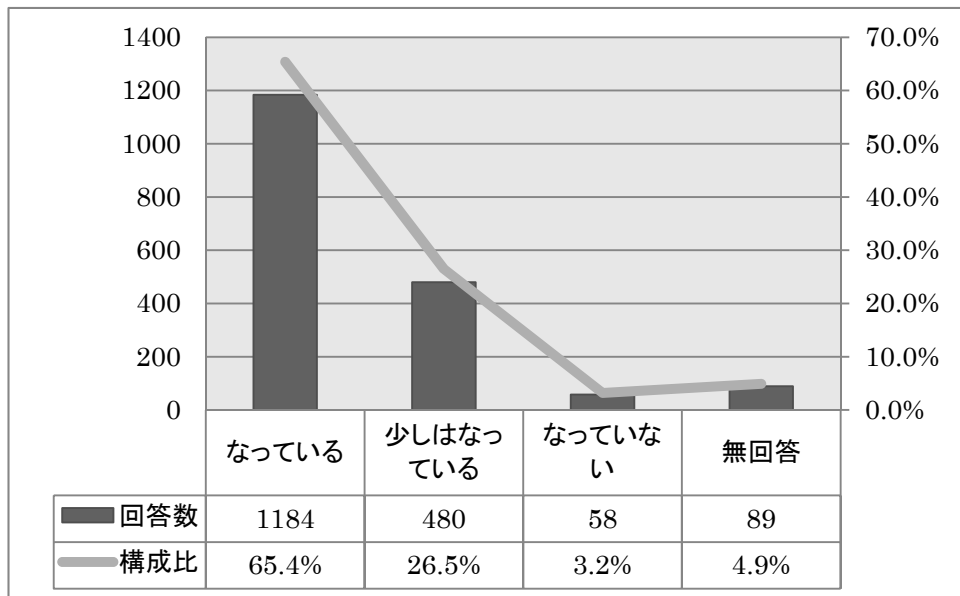
約68%がサロンに参加して生活のリズムが良くなった、または、少し良くなったと答えている。良くなったが約42%と最も多く、変わらないが約27%となっている。





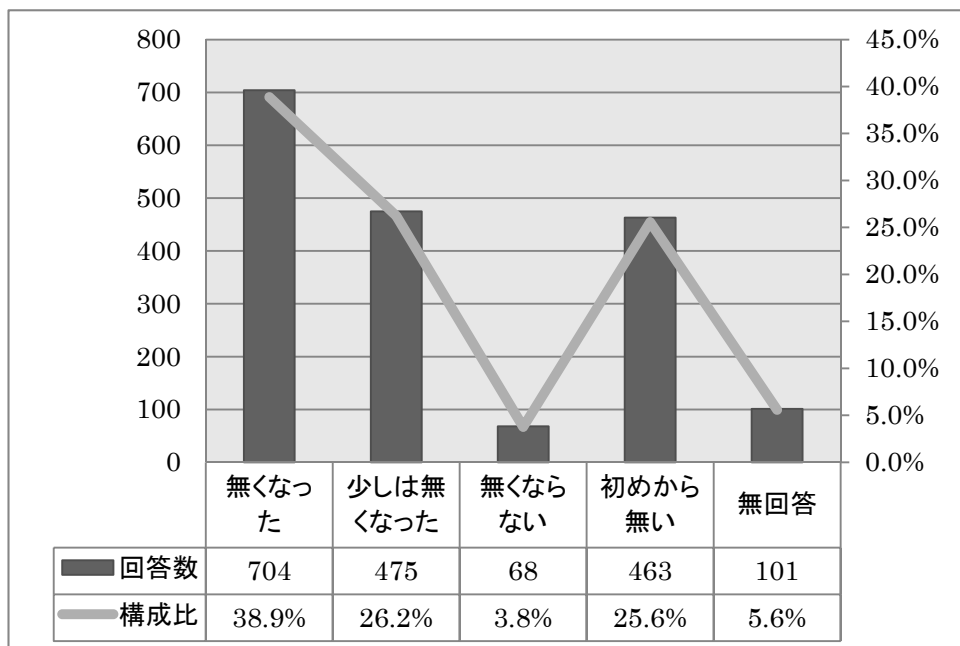
### 30. サロンに参加して、サロンの参加は生きがいとなっていますか？

約92%が、サロンの参加が生きがいになっている、または、少しはなっていると答えている。なっていないは、わずか約3%に留まっている。



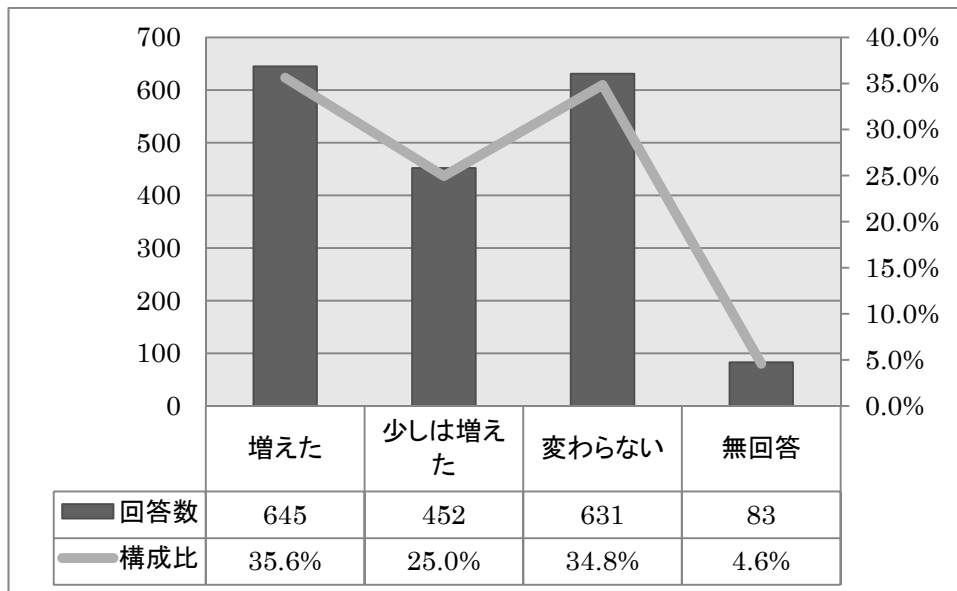
### 31. サロンに参加して、さびしさや不安感は無くなりましたか？

約65%がサロンに参加してさびしさや不安感が無くなった、または、少しは無くなったと答えている。初めから無いも約26%と比較的多い。



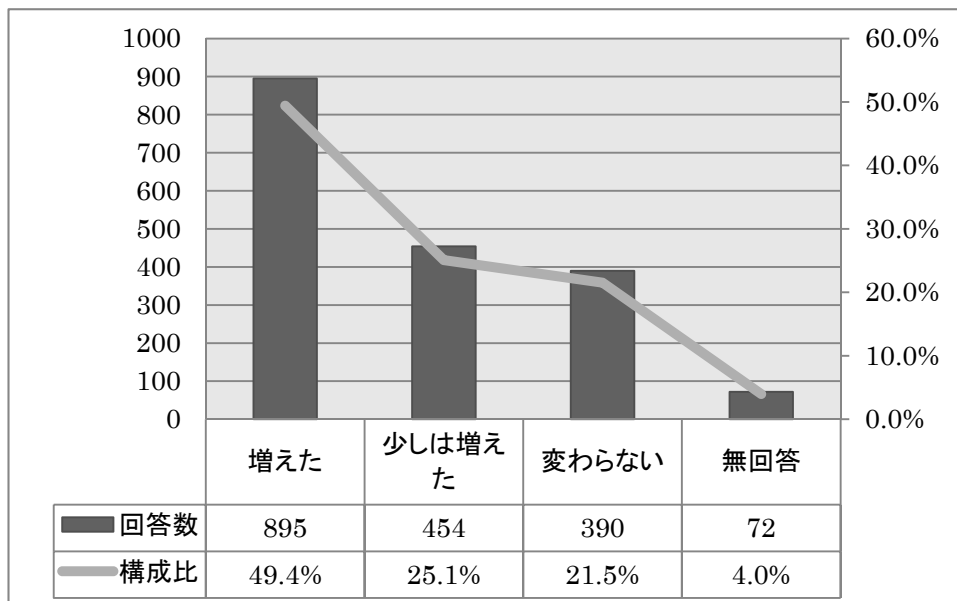
### 3 2 . サロンに参加して、外出の回数は増えましたか？

約 6 0 % がサロンに参加して外出の回数が増えた、または、少しは増えたと答えている。  
 変わらないも約 3 5 % と比較的多い。



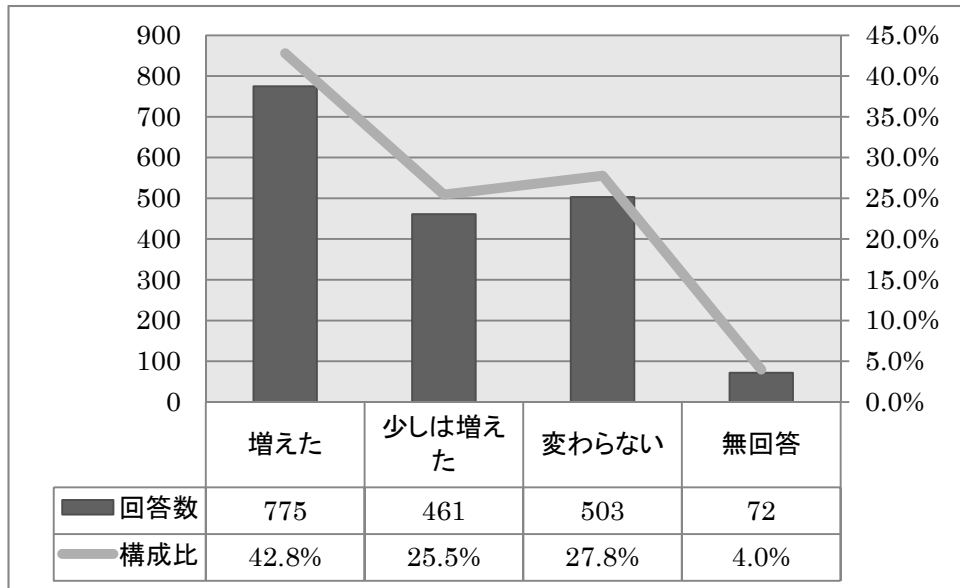
### 3 3 . サロンに参加して、友人は増えましたか？

約 7 5 % がサロンに参加して友人が増えた、または、少しは増えたと答えている。  
 増えたが約 4 9 % と最も多く、少し増えたは約 2 5 % となっている。



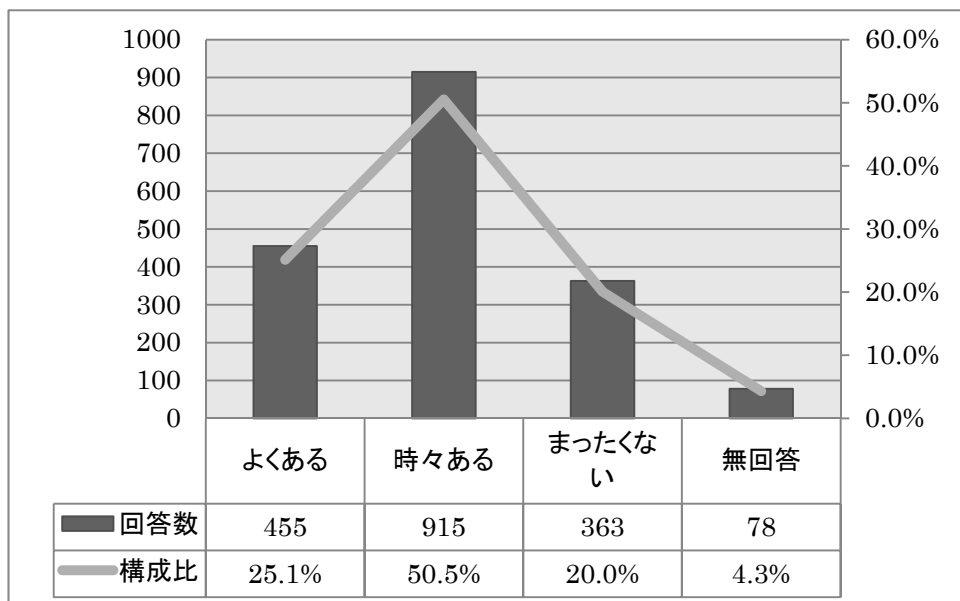
### 34. サロンに参加して、近所の人との交流は増えましたか？

約68%がサロンに参加して近所の人との交流が増えた、または、少しは増えたと答えている。増えたが約43%と最も多く、変わらないが約28%となっている。



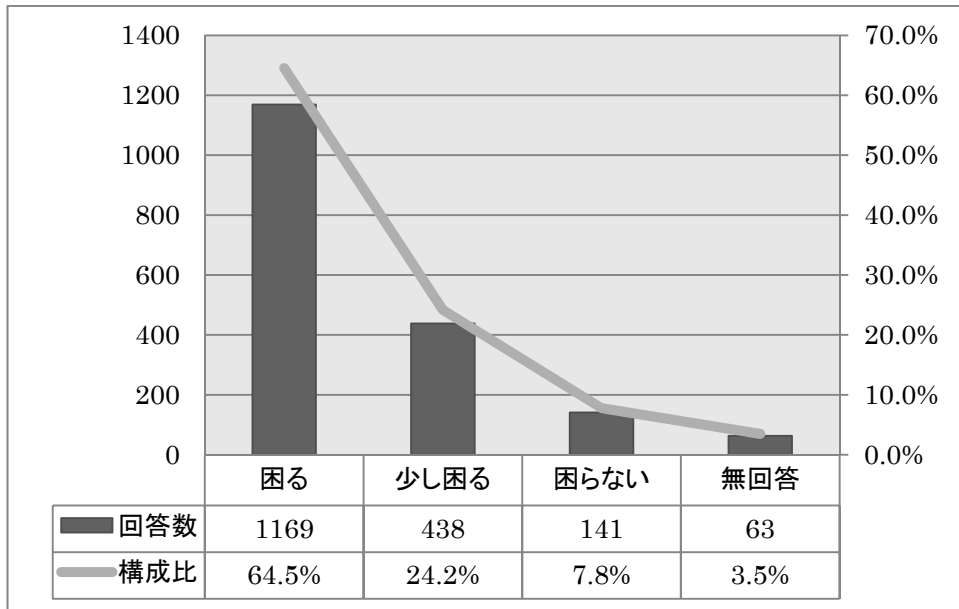
### 35. サロンで知り合った人と、サロン以外で行き来することはありますか？

約76%がサロンで知り合った人とサロン以外で行き来することがよくある、または、時々あると答えている。時々あるが約51%と最も多く、半数を占める。



### 36. サロンが無くなったら困りますか？

約89%がサロンが無くなったら困る、または、少し困ると答えている。  
困らないは約8%に留まっている。



### 3. アンケート調査からわかったこと

#### 【健康面】

サロンに参加すると、身体を動かす習慣ができる。 18 P - 24 参照

約81%がサロンに参加して身体を動かす習慣ができた、または、少しできたと答えている。

サロンに参加すると、健康に気を付けるようになる。 18 P - 25 参照

約89%がサロンに参加して健康に気を付けるようになった、または、少しは気を付けるようになったと答えている。

サロンに参加すると、認知症の予防になる。 19 P - 26 参照

約90%がサロンは認知症予防になっている、または、少しはなっていると答えている。

#### 【交流面】

サロンに参加すると、友人が増える。 22 P - 33 参照

約75%がサロンに参加して友人が増えた、または、少しは増えたと答えている。

サロンで知り合った人とサロン以外でも交流を持つことができる。 23 P - 35 参照

約76%がサロンで知り合った人とサロン以外で行き来することがよくある、または、時々あると答えている。

#### 【運営面】

運営費は様々な工夫や他の協力により、やり繰りされている。 7 P - 9・7 P - 10 参照

82%が運営費に余裕がある、丁度良い、なんとかやり繰りができていると答えている。

市社協助成金以外にも町内会や地区社協などから収入を得ているサロンも多数ある。

参加費（会費）について、運営者と参加者にギャップがある。 9 P - 14・17 P - 23 参照

約44%のサロンが参加者から負担金はもらえないと答えているが、一方で約86%の参加者は運営に必要な参加費は負担しても構わない、低額なら負担しても構わない、外出行事なら負担しても構わないと答えており、運営者と参加者の考え方にギャップがあるようである。

サロンは参加者の生きがいの1つとなっている。 21 P - 30 参照

約92%がサロンの参加が生きがいになっている、または、少しはなっていると答えている。

サロンをやめたい運営者はいない。 9 P - 14 参照

サロンをやめたいと思っている運営者は1人もいなかった。

## 4. 資料（依頼文・アンケート用紙）

平成21年12月 日

ふれあい・いきいきサロン代表者各位

高崎市社会福祉協議会  
会 長 中 島 英 明

ふれあい・いきいきサロンアンケート調査について（ご依頼）

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日ごろから本協議会の事業推進につきましては、ご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、高崎市社会福祉協議会では去る3月に策定した地域福祉活動計画を推進しており、計画の重点目標になっている「ふれあい・いきいきサロンの推進」に掲げられている、アンケート調査を下記のとおり実施することになりました。

サロンの有効性や効果を検証する大切なアンケート調査になりますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 記

目 的 高崎市社会福祉協議会が推進しているふれあい・いきいきサロンについて、これまでの取り組みから得られた効果や、抱えている課題、継続性をアンケート調査により探り、検証し、今後の推進に活かしていく。

送 付 物 1. 依頼状（本紙）  
2. 代表者・運営関係者用アンケート用紙（緑）×1枚  
3. 参加者用アンケート用紙（白） 枚  
4. 返信用封筒【←本所・榛名支所以外は削除】

回収方法 同封している返信用封筒で、ご返送ください。【←本所・榛名支所】  
〇〇支所にご持参ください。【←倉渕・箕郷・群馬・新町・吉井支所】

締 切 平成22年2月26日（金）

※本調査は、社会福祉協議会が助成する高齢者サロンの内50%を本所・支所単位で無作為抽出し依頼しています。

#### 調査対象

代表者・運営関係者用アンケート（緑色の用紙）

代表者または運営に関係している方お1人をご記入ください。

参加者用アンケート（白い用紙）

参加されている高齢者全員にご記入いただいでください。全員の記入が難しい場合は、各サロンの判断にお任せいたしますが、なるべくたくさんの方にご記入いただくとありがたいです。記入できない方には、代筆していただいても構いません。

アンケート用紙が足りない場合は、ご連絡いただければ早急に郵送させていただきます。

#### お願い事項

①参加者ご自身だけで回答するのが難しい方も多いと思われます。無理のない範囲で構いませんが、サロンの中でお時間を割いていただき皆さんで回答していただけると幸いです。

②各アンケート用紙には、紙面の都合により目的や依頼内容等を書いてありません。参加者の皆さんにお願いする際に、お手数ですがアンケートの目的や協力いただきたい旨をお話いただきますようお願いいたします。

#### 問い合わせ先

高崎市社会福祉協議会 担当：伊藤

〒370-0065 高崎市末広町115-1 高崎市総合福祉センター3階

電 話 027-370-8855

F A X 027-370-8856

【↑本所・各支所を記入】

## 高崎市ふれあい・いきいきサロンアンケート

### 【代表者・運営関係者用】

- 問1 サロンを開催している地区について、当てはまるもの1つに○をつけてください。  
1. 旧高崎 2. 倉渕 3. 箕郷 4. 群馬  
5. 新町 6. 榛名 7. 吉井
- 問2 サロンの開催頻度について、当てはまるもの1つに○をつけてください。  
1. 月1回くらい 2. 月2回くらい 3. 週1回くらい  
4. 月1回未満
- 問3 サロンの活動曜日について、当てはまるもの1つに○をつけてください。  
1. 月曜日 2. 火曜日 3. 水曜日 4. 木曜日 5. 金曜日  
6. 土曜日 7. 日曜日 8. 曜日は決まっていない
- 問4 サロンの活動時間帯について、当てはまるもの1つに○をつけてください。  
1. 午前だけ 2. 午後だけ 3. 午前から午後 4. 夕方のみ  
5. 夜間 6. 特に決まっていない
- 問5 参加者・担い手（運営関係者）の1回に参加する平均人数をご記入ください。  
参加者（ ）人 担い手（ ）人
- 問6 サロン開設時と比べて参加者数はどう変化していますか？当てはまるもの1つに○をつけてください。  
1. 増えている 2. ほとんど変化なし 3. 減っている
- 問7 参加者の性別構成について、当てはまるもの1つに○をつけてください。  
1. 女性のみ 2. 女性が多い 3. 男性・女性ともほぼ同数  
4. 男性が多い 5. 男性のみ
- 問8 認知症と思われる参加者はいますか？当てはまるもの1つに○をつけてください。  
1. いる 2. いない 3. わからない
- 問9 サロンの運営費（収入）について、当てはまるもの1つに○をつけてください。  
1. 運営費に余裕がある 2. 丁度良い 3. なんとかやり繰りできている  
4. 運営費は足りていない（今の運営費では満足いく活動ができていない）  
5. その他（ ）

裏面もご記入ください





## 高崎市ふれあい・いきいきサロンアンケート

### 【参加者用】

- 問1 サロンを開催している地区について、当てはまるもの1つに○をつけてください。
1. 旧高崎 2. 倉渕 3. 箕郷 4. 群馬  
5. 新町 6. 榛名 7. 吉井
- 問2 年齢と性別についてお答えください。
- 年齢 ( ) 歳 性別 1. 男性 2. 女性
- 問3 家族構成について、当てはまるもの1つに○をつけてください。
1. ひとり暮らし 2. 夫婦ふたり 3. 子どもと同居 4. 親と同居  
5. その他 ( )
- 問4 介護保険の認定を受けていますか？当てはまるもの1つに○をつけてください。
1. 受けていない（非該当・申請中を含む） 2. 要支援2 3. 要支援1  
4. 要介護1 5. 要介護2 6. 要介護3 7. 要介護4  
8. 要介護5 9. 自分の介護度がわからない 10. 介護保険を知らない
- 問5 サロン会場への距離について、1番あなたの考えに近いものに○をつけてください。
1. 近い 2. 少し遠い 3. とても遠い 4. なんとも思わない
- 問6 サロン会場までどのように来ていますか？1番多いもの1つに○をつけてください。
1. ひとりで歩いて来ている 2. 自転車で来ている  
3. 自分の自動車できている 4. 家族と一緒に歩いて来ている  
5. 家族が自動車で送迎してくれる 6. 参加者同士誘いあって来ている  
7. 参加者の自動車に乗り合わせて来ている  
8. 民生委員やボランティアと一緒に歩いて来ている  
9. 民生委員やボランティアが自動車で送迎してくれる
- 問7 サロンに参加してどのくらいの期間になりますか？当てはまるもの1つに○をつけてください。
1. 1年未満 2. 1年～2年の間 3. 2年～3年の間  
4. 3～4年の間 5. 4年～5年の間 6. 5年以上
- 問8 サロン参加費（会費）の負担について、1番あなたの考えに近いものに○をつけてください。
1. 運営に必要な参加費は負担しても構わない 2. 低額なら負担しても構わない  
3. 外出行事なら負担しても構わない 4. 参加費を負担してまで来たくない

裏面もご記入ください

**裏 面**

問9 サロンに参加して、変わったことはありますか？項目ごと、ご自身に当てはまるもの1つに○をつけてください。

- (1) 身体を動かす習慣はできましたか？  
1. できた 2. 少しはできた 3. 変わらない
- (2) 健康に気をつけるようになりましたか？  
1. 気をつけるようになった 2. 少しは気をつけるようになった  
3. 変わらない
- (3) サロンは、認知症（ぼけ）の予防になっていると思いますか？  
1. なっている 2. 少しはなっている 3. なっていない
- (4) 体調は良くなりましたか？  
1. 良くなった 2. 少し良くなった 3. 変わらない
- (5) 病院に行く回数は減りましたか？  
1. 減った 2. 少しは減った 3. 変わらない
- (6) 生活のリズムは良くなりましたか？  
1. 良くなった 2. 少しは良くなった 3. 変わらない
- (7) サロンの参加は生きがいとなっていますか？  
1. なっている 2. 少しはなっている 3. なっていない
- (8) さびしさや不安感は無くなりましたか？  
1. 無くなった 2. 少しは無くなった 3. 無くならない 4. 初めから無い
- (9) 外出の回数は増えましたか？  
1. 増えた 2. 少しは増えた 3. 変わらない
- (10) 友人は増えましたか？  
1. 増えた 2. 少しは増えた 3. 変わらない
- (11) 近所の人との交流は増えましたか？  
1. 増えた 2. 少しは増えた 3. 変わらない
- (12) サロンで知り合った人と、サロン以外で行き来することはありますか？  
1. よくある 2. 時々ある 3. まったくない

問10 サロンが無くなったら困りますか？

1. 困る 2. 少し困る 3. 困らない

ご協力ありがとうございました



# ふれあい・いきいきサロンの効果

～高崎市社協の実践から～

平成22年4月

編集 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会  
ふれあい・いきいきサロンプロジェクトチーム

発行 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会  
〒370-0065  
群馬県高崎市末広町115-1 高崎市総合福祉センター3階  
TEL 027-370-8855  
FAX 027-370-8856